

Istanbul Weekly vol.7-no.38

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年11月30日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：AKP、地方選挙での市長候補者 60 名を発表。
アンカラでトルコ EU ハイレベル政治対話会合実施。
- 経済**：トルコ中央銀行：10月の外貨等の準備高、1.7%増の862億米ドルに。
エルドアン大統領：「イスラム諸国間の貿易は現地通貨で行うべき」
- 治安**：在トルコ・オーストリア大使館近くで発砲事件が発生。
国家安全保障会議が開催。
- 軍事**：アカル国防相：米国の北シリアにおける監視所設置計画を非難。
イスタンブール市サンジャクテペで軍のヘリコプターが墜落。
- 社会**：ヤロヴァ県にてマグニチュード4.1の地震発生。

政治

【内政】

●クルチダルオール CHP 党首とインジェ氏、地方選挙での候補者を協議

22日、クルチダルオール CHP 党首と6月の大統領選挙で CHP 等の大統領候補者だったインジェ氏が会談した。会談で、2019年3月に実施される地方選挙のイスタンブール市長候補者についても協議され、インジェ氏が、アンケート調査によって選出することを提案したのに対し、クルチダルオール CHP 党首は、党内の意見を直接聞いた上で決定すると述べた。(11月23日付け M 紙 15 面)



(写真は、11月22日付け Haberturk 紙インターネット版から)

●CHP のトルコ人移民調査結果：2017年に11万3,326人が外国に移住

CHP が実施した調査によれば、2017年に外国に移住したトルコ人の数は11万3,326人で、2016年の6万9,326人から63%増加した。移住したトルコ人の5人のうち2人は20歳から34歳の年齢層で、その多くは教育水準が高く、大都市の居住者という結果になった。また、同調査では、過去3年間で1万3,000人の企業家がトルコから移住したと指摘している。(11月24日付け M 紙 13 面)

●AKP、地方選挙での市長候補者 60 名を発表

24日及び27日、AKPは、2019年3月に実施予定の地方選挙

に向け、60名の市長候補者を発表した。アンカラ市長候補者としてオズハセキ AKP 地方自治担当副党首、イズミル市長候補者にはゼイベキジ大統領府経済政策委員会委員長代理が発表された。一方で、イスタンブール市長候補者については、市長候補者としてユルドゥルム国会議長が有力視されていたが、発表は延期された。(11月25日付け C 紙 4 面及び11月28日付け C 紙 4 面)



(写真左：オズハセキ AKP 地方自治担当副党首、右：ゼイベキジ大統領府経済政策委員会委員長代理。写真は、11月27日付け Yeniakit 紙インターネット版から)

●MHP、イスタンブール、アンカラ及びイズミルで AKP を支持

25日、パフチェリ MHP 党首は、2019年3月に予定される地方選挙について、「我々は、イスタンブール、アンカラ及びイズミルにおいて独自の市長候補者を擁立しない。AKP が擁立した候補者を無条件に支持していく。」と述べ、本年6月に実施された大統領選挙同様、AKP との政党間同盟を組む意向を明らかにした。(11月26日付け C 紙 5 面)

●CHP と至福党、地方選挙での政党間同盟を協議

26日、クルチダルオール CHP 党首は、至福党本部で、カラムルオール至福党党首と会談した。会談で、両党首は、2019年3月に予定される地方選挙で、政党間同盟は組まないが、両党の支持基盤が政党間の協力に賛同した場合には、特定の選挙区において協力関係を結ぶことで意見が一致した。(11月27日付け C 紙 5 面)



(写真は、11月26日付け CNNTURK 紙インターネット版から)

【外交】

●アンカラでトルコ EU ハイレベル政治対話会合実施

22日、アンカラで約1年半ぶりに「トルコ EU ハイレベル政治対話会合」が行われた。会合後の共同記者会見において、チャヴシュオール外相は、2016年3月にトルコ・EU間で合意に至った難民対策のプロセスが暗礁に乗り上げているとし、トルコ社会の一般的な見方としては EU は信頼することのできないパートナーであると批判した。この発言に対し、モグリーニ EU 外務・安全保障政策上級代表は、「今日の国際社会で EU より信頼できるパートナーを見つけることは容易ではない。」と応じ、また、大学関係者や NGO 支援で知られるビジネスマン・カヴァラ氏が拘束されていることについてトルコ政府を批判した。EU 代表団の訪問に際し、エルドアン大統領への表敬訪問は実現しなかった。(11月23日付け C 紙 7面)



(写真は、11月22日付け M 紙インターネット版から)

●エルドアン大統領、トルコ・カタール高等戦略委員会でスピーチ

26日、エルドアン大統領は、トルコ訪問中のタミーム・カタール首長と共に、イスタンブールで開催された「トルコ・カタール高等戦略委員会会合」に出席した。会合で、エルドアン大統領は、「トルコ国民は、カタールを標的とした封鎖や制裁を阻止するために努力してきた。カタールも、7月15日のクーデター未遂事件以降、トルコの強力な支援国の一つであった。カタールは、真の友人である。」と述べた。また、両国間で、文化や経済等の分野における協力に関する協定が署名された。(11月26日付け Yeniakit 紙インターネット版及び11月27日付け M 紙 12面)



(写真は、11月26日付け CNNTURK インターネット版から)

経済

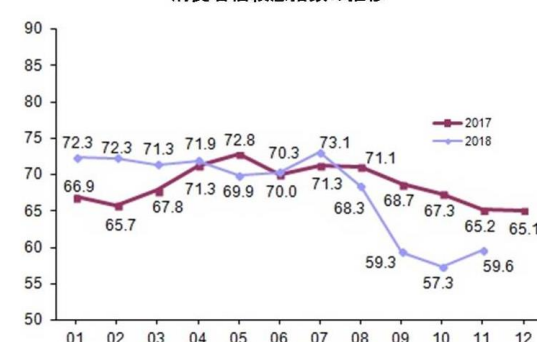
【マクロ経済】

●11月の消費者信頼感指数、対前月比4%増の59.6

22日、トルコ統計庁(TUIK)は、11月の消費者信頼感指数が対前月比4%増の59.6であったと発表。同指数の低位指標を見る

と、一般経済状況期待指数は6.2%増の77.4、家計状況期待指数は5.4%増の77.5、貯蓄可能性期待指数は4.8%増の20.1、失業に関する指数は0.3%減の63.4であった。(11月23日付け HDN 紙 9面)

消費者信頼感指数の推移

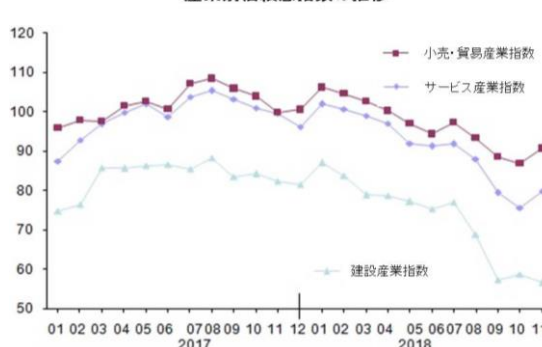


(グラフは、TUIK サイトから)

●11月の産業別信頼感指数: サービス、小売り・貿易は回復基調、建築低下

26日、トルコ統計庁(TUIK)は、11月の季節調整後の産業別信頼感指数を発表。サービス産業は対前月比5.4%上昇の79.8、小売り・貿易産業信頼感指数は対前月比4.3%上昇の90.7となり、建設産業信頼感指数は前月比3.5%下落の56.6となった。(11月27日付け HDN 紙 8面ほか)

産業別信頼感指数の推移

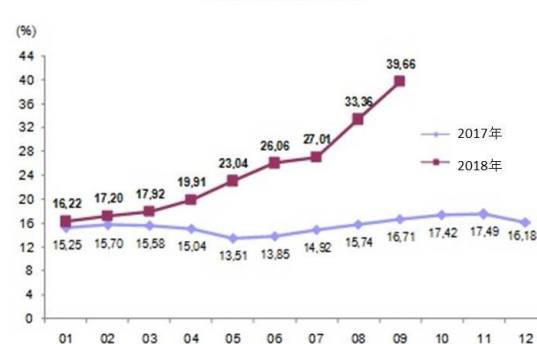


(グラフは、TUIK サイトから)

●9月の建築費指数、対前年同月比39.66%上昇

22日、トルコ統計庁(TUIK)は、9月の建築費指数が対前月比5.88%上昇、対前年同月比では39.66%上昇したと発表。建築資材指数は対前月比8%上昇、対前年同月比では50.04%上昇し、労働指数は対前月比0.46%、対前年同月比では17.24%上昇した。また、ビル建設費用指数も対前月比6.17%上昇、対前年同月比38.6%上昇した。(11月22日付け H 紙インターネット版)

建築費指数の推移



(グラフは、TUIK サイトから)

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。

●日本格付研究所(JCR)、トルコを「クレジット・モニター」から解除

27日、日本格付研究所(JCR)は、本年8月14日付けで同研究所の「クレジット・モニター」(当館注:定期的な格付見直し以外に、随時信用格付の見直し作業を行うこと。)の対象として、トルコ及びトルコ債券の格付を指定していたが、これを解除したと発表。クレジット・モニターを解除する理由として、トルコリラが替相場の回復傾向、単月での経常収支の改善等を挙げた。一方で、トルコ及びトルコ債券の格付自体は BBB(債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある)ネガティブのまま据え置いた。(11月28日付け HDN 紙9面ほか)

●2017年のトルコの研究開発費、298億トルコリラ

28日、トルコ統計庁(TUIK)は、2017年のトルコの研究開発費総額(GERD)は、対前年比21.2%増の298億トルコリラであったと発表。国内総生産(GDP)における GERD の占める割合は2016年の0.94%から0.96%に上昇した。同研究開発費の内訳を見ると、民間資金は49.4%、政府資金は33.6%、高等教育機関の資金は13.3%、外国資金は3.5%であった。(11月29日付け HDN 紙9面)

【金融】

●10月のトルコ中央銀行の外貨等の準備高、1.7%増の862億米ドルに

28日、トルコ中央銀行は、10月の外貨等の準備高が前月末の847億米ドルから1.7%増の862億米ドルとなったと発表。金準備高は同4.7%増の185億米ドル。一方で、前年同月の外貨等の準備高は1,177億米ドルであり、27%減となった。(11月29日付け HDN 紙9面)

【経済政策】

●アルバイラク財務相:「更なる減税措置は予定なし」

アルバイラク財務相は国会の予算委員会において、財政規律は我々のアンカーであり、効果的ではない減税措置は停止し、新たな減税措置も必要がない限り導入しないと発言した。また、政府は、納税者が脱税者による競争上の不利益を被らずに経済が推進されるよう、税・リスク分析センターを設立するとした。(11月23日付け HDN 紙9面)

【経済外交】

●エルドアン大統領:「イスラム諸国間の貿易は現地通貨で行うべき」

28日、エルドアン大統領は、イスラム諸国会議機構(OIC)経済貿易協力常任委員会(COMCEC)第34回会合の場で、イスラム諸国間の貿易の一層の振興が重要であるとし、各国が為替レートの重荷から解放されるよう、同諸国間の貿易においては自国通貨を使用するべきであると発言した。(11月29日付け HDN 紙3面)

【エネルギー】

●ロシア、トルコストリーム第2段はブルガリア、セルビアへ

22日、露紙コメルサントは、ガスプロムはトルコストリームの天然ガスパイプラインにおける第2のパイプラインを、2020年にトルコからブルガリア及びセルビアまで、2021年にはハンガリーまで延長する予定であることを発表した。なお、これらのルートは、2014年に計画が中止となった「サウス・ストリーム」と同じルートとなる。(11月23日付け HDN 紙8面)

●イラク・キルクークからトルコへの原油輸出、6万バレルから10万バレルへ増加

21日、アブドルマハディー・イラク首相は、キルクーク北部の油田からトルコ南部ジェイハン港への原油輸出を一日当たり6万バレルから10万バレルへ増加させる意向を明らかにした。2017年9月、クルディスタン地域政府(KRG)が実施した独立を問う国民投票以来、イラク中央政府とKRGの関係は悪化。中央政府とKRGが暫定合意に達するまで、キルクーク地域における原油の採掘活動は、同年10月から2018年11月16日まで停止されていた。(11月23日付け HDN 紙8面)



(写真は、11月22日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコ、地中海浅水域での掘削予備作業を開始

26日、ドンメズ・エネルギー天然資源相は、トルコ南部のメルシン沖の地中海で浅水掘削を行うため、予備作業を開始したことを明らかにし、エネルギーの対外依存を削減するため、今後も当該地域において天然ガス及び石油資源探鉱のための掘削活動を継続していく旨述べた。2か月を予定している浅水掘削プロジェクトの最初の坑井は北エルデミルリ地点で、沿岸から119海里、深水101メートルを予定している。(11月28日付け HDN 紙9面)

治安

【FETO 関係】

●トルコ検察庁がカルロフ元駐トルコ・ロシア大使殺害事件の捜査を終了

23日、トルコ検察庁は、2016年に発生したカルロフ元駐トルコ・ロシア大使殺害事件の捜査を終了し、フェトフツラー・ギュレン師を含む28名をアンカラ裁判所に起訴した。起訴状は、犯行目的がトルコ・ロシア関係の悪化であったとしている。(11月26日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、11月26日付け HDN 紙インターネット版から)

【その他】

●在トルコ・オーストリア大使館近くで発砲事件が発生

25日、在トルコ・オーストリア大使館(アンカラ)付近で、発砲事件が発生した。警察は、一時周辺の道路を封鎖するとともに、捜査により容疑者2名を拘束し、銃器を押収した。アンカラ県庁によれば、容疑者は、アルコールの影響を受けていたと見られ、走行中の車両から空中に向けて発砲したが、損壊や負傷の被害は生じなかった。(11月25日付け HDN 紙インターネット)

版)



(写真は、11月25日付けS紙インターネット版から)

●国家安全保障会議が開催

27日、エルドアン大統領主宰による国家安全保障会議(MGK)が開催され、「国内外で実施されたテロ対策オペレーション及び国境地帯の治安情勢を国家安全保障会議に集約する。」、「シリア・イドリブで銃火器が撤去された地域を構築し、停戦を永続的なものにする。」、「イラクのPKK・KCKの拠点に対する軍のオペレーションを継続する。」等が確認された。(11月27日付HDN紙インターネット版)



(写真は、11月27日付けHDN紙インターネット版から)

軍事

●アカル国防相:米国の北シリアにおける監視所設置計画を非難

24日、アカル国防相は、米国の北シリアにおける監視所の設置計画に関し、ダウンフォード米統合参謀本部議長と協議し、監視所の設置は、トルコ・米国関係に悪影響を及ぼし、米国が同地域のYPG戦闘員を保護しているとの印象を与えると伝えたと明らかにした。(11月24日付けS紙インターネット版)

●チャヴシュオール外相:米国にマンビジュからのYPG撤退に関する二国間合意の履行を要求

23日、チャヴシュオール外相は、米国に対し、2018年末までに全てのYPGテロリストをマンビジュから撤退させることを規定した二国間合意の履行を完了し、合意の範囲をユーフラテス川東部まで拡大することを求めたと述べた。

(11月23日付けHDN紙インターネット版)

●イスタンブール市サンジャクテペで軍のヘリコプターが墜落

27日、イスタンブール市サンジャクテペにおいて、軍のヘリコプターが墜落し、兵士4名が死亡、1名が負傷した。(11月27日付けHT紙インターネット版)

社会

●トルコ南部にて有史以前の大規模墓が発掘される

地中海沿岸のリゾート地アランヤで、数千年前のものと見られる墓が発掘された。骸骨で埋め尽くされた洞窟を発見したのはエクストリームスポーツ競技者ら。発掘を行ったアランヤ考古学博物館のユルマズ専門家は、骸骨は5千年から7千年前のものと見られ、銅器時代及び初期青銅器時代の人々の生物学的・形態学的特長を明らかにする重要なデータとなると

述べた。(11月22日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、11月22日付けHDN紙インターネット版から)

●「ブラックフライデー」実施

感謝祭翌日の金曜に始まるセール「ブラックフライデー」は、毎年トルコ全土でも大々的に行われているが、イスラム教徒にとって神聖な日である金曜日に否定的な印象を与えかねない「ブラックフライデー」との名称を企業はほとんど使用していない。今年新たに市場参入したアマゾン「待ちに待った金曜日」、テクノサは「テクノ・フライデー」、メディアマルクトは「素晴らしい金曜日」の名称を用いてセールを実施した。一方で、専門家はブラックフライデーを悪用した詐欺も多いと警告。他の時期のセールと大差がないことや、セール期間中の値下げに先立って定価を引き上げている企業もあることを不満に思う消費者も多い。(11月23日付けHDN紙インターネット版)

●イズニック:古代ローマ劇場跡にて紀元前6世紀のセラミック発掘

ブルサ県イズニック北西部の古代ローマ劇場跡が、これまで考えられていた紀元後2世紀よりもはるかに以前のものであることが判明した。発掘に当たったのはメリチ・9月9日大学考古学教授らで、劇場跡から紀元前6世紀イオニア時代のセラミックが発掘された。また、劇場は2階建てではなく3階建てであることも明らかになった。イズニックは、ユネスコ世界遺産の暫定リストに登録されており、トルコ政府は正式登録に向けた努力を続けてきた。メリチ教授は「ローマ劇場は紀元後2世紀に建設されたものとして認識している。しかし、紀元前6世紀のイオニア時代に遡るセラミックが発見されたことで、劇場が建設される以前に同地に生活があったことになり、非常に重要な発見になる。この発掘作業が完了すれば、イズニックはユネスコ遺産正式登録される可能性も濃厚になると信じている。」と述べた。(11月24日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、11月24日付けHDN紙インターネット版から)

●アダナの凱旋門に修復工事実施

3世紀にローマ人がペルシャ人の攻撃に備え建設したアナヴァルザ古代都市の凱旋門が修復工事される。門はアダナ県コザン地区南部に位置し、幅22.5メートル、高さ10.5メートルで、トルコで最も大きな記念碑ゲートの一つ。アナヴァルザ古代都市はユネスコの世界遺産の暫定リストに名を連ねており、タリ・アダナ文化観光局局長は、「修復工事は同古代都市を世界に認識させることに貢献することになるであろう。」と述べた。アダナはトルコ国内外からの観光客にも人気の都市であり、修復作業は来年第1四半期に終了予定。(11月25日付け

HDN 紙インターネット版)



(写真は、11月25日付け HDN 紙インターネット版から)

●モザイク画「ジプシーの少女」の断片が53年ぶりにトルコへ帰国

27日、紛失していた有名なモザイク画「ジプシーの少女」の断片が、米国からトルコに返還された。今年5月にトルコ文化観光省と米国のボウリング・グリーン州立大学の間で交わされた合意書に基づき、同モザイク画の12片がトルコへ返還された。断片はアタテュルク空港に到着後、ガジアンテップ県のゼウガマ・モザイク博物館へ運搬された。同断片は1960年代に古代ローマ都市ゼウガマにて発掘されたが、その後海外へ密輸され、1965年にはオハイオ州のボウリング・グリーン州立大学が骨董品店から3万5千ドルで購入し展示していた。断片は、一時的にゼウガマ・モザイク博物館に展示された後、元のモザイク画本体に組み込む修復作業が行われる予定である。

(11月28日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、11月28日付 HDN 紙インターネット版から)

●トルコ黒海の村の伝統スポーツ「ペトランボーディング」のシーズン到来

「ペトランボーディング」は18世紀に文化活動の一環として黒海沿岸リゼ県メシエ村で始まった。「ペトラン」とはメシエ村の旧名。200年にわたり同地区では、積雪量が多い冬の移動手段として使用されてきたが、近年では娯楽の一つとなっている。ペトランボードは木板を組み合わせて作った簡素なもので、素人でも時速30km、熟練者は時速100kmで走行可能。トージュ・メシエ村長は「冬のスポーツはエリートのものだという認識を変えるものである。ペトランボーディングの認知度をフェスティバルなどでより高めていきたい。」と述べた。(11月28日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、11月28日付 HDN 紙インターネット版から)

●ヤロヴァ県にてマグニチュード4.1の地震発生

30日の早朝5時36分、ヤロヴァ県チュナルジユク地区を震源地とするマグニチュード4.1の地震が発生した。周辺のイスタン

ブール県、コジャエリ県、ブルサ県、テキルダール県でも揺れが感じられた。この地震による人的及び物的被害は報告されていない。(11月30日付け H 紙インターネット版)

●ボドルムにて竜巻、洪水発生

29日午後14時頃、ギリシャのイスタンキョイ島とボドルム沖にて竜巻が発生した。竜巻はその後ボドルム中心部に上陸し、大雨となり市中心部に洪水が発生した。多くの車両が水に流される事態となったが、ユルマズ・ボドルム郡長によれば、洪水による死者、行方不明者は出ていない。(11月30日付け H 紙4面)



(写真は、11月29日付け CNNTURK 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNG	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.11.29 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくり/バ-		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	8件	0件	2件	0件	14件	0件	6件

★当館 HP 更新のお知らせ★

- [第3回総領事杯全トルコ剣道大会の開催 \(PDF\)](#) (11/24)
- [「在外安全対策セミナー」開催案内 \(2019年1月18日\)](#) (11/30)